

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)旭ヶ丘公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)旭ヶ丘公民館の使用許可に関すること。 (3)使用料の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 平均値比 103% = 利用率 22.0% ÷ 21.4% (上記②適用)	105%未満～95%:4点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール :45.8%(平均値比 110% =45.8÷41.8%) 中会議室 :35.8%(平均値比 111% =35.8÷32.3%) 小会議室 :18.3%(平均値比 104% =18.3÷17.6%) 研修室 :16.7%(平均値比 95% =16.7÷17.5%) 和室(A) :13.3%(平均値比 97% =13.3÷13.7%) 和室(B) :17.6%(平均値比 101% =17.6÷17.5%) 料理実習室 :5.8%(平均値比 62% =5.8÷9.4%)	4点
				②利用人数	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 平均値比 126% = 利用人数 30,906人 ÷ 24,432人 (上記②適用)	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 大ホール :16,772人 (平均値比 130% =16,772人÷12,860人) 中会議室 :4,114人 (平均値比 151% =4,114人÷2,724人) 小会議室 :1,961人 (平均値比 169% =1,961人÷1,162人) 研修室 :2,395人 (平均値比 131% =2,395人÷1,822人) 和室(A) :1,448人 (平均値比 93% =1,448人÷1,551人) 和室(B) :1,799人 (平均値比 98% =1,799人÷1,842人) 料理実習室 :269人 (平均値比 64% =269人÷421人)	5点
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P131～133 ①公民館まつり (1)第28回ふれあいまつり 394人 初参加の「ウクレレ」、3年ぶりの「よさこい」や「フォークダンス」など14団体 (2)「第42回趣味の作品展」出展者・来場者数合計 784人 菊、版画、書道、絵手紙、陶芸など13団体。地元32区のウォーキング事業に合わせて実施。保健センター「北栄地域健康ひろば」を同時開催。 ②地域意識醸成事業 (1)サロン事業「北栄健康おしゃべりサロン」 全6回96人 (2)健康サロン「ラジオ体操で楽しいひとときを」 全338回 4,410人 (3)ウォーキング事業「みんなで外に出かけよう！」 全5回99人 (4)防災講座「知っておきたい救命救急の基礎知識」 20人	仕様書以上 13点	①回を重ねている「ふれあいまつり」だが、徐々に観客を巻き込んだ参加型の出し物が増えており、参加者の満足度も高まっている。多西高放送部による朗読など多世代が参加できるよう努めている。 ②同様に「趣味の作品展」も、自治会のウォーキング事業や市の健康ひろば事業と連携し観覧者を増やし、地域交流の場としての相乗効果を引き出す取組みとなっている。 ③サロン事業やウォーキング講座はコロナ禍でも開催の要望は強い。高齢者の多い地域の特色を認識し、健康づくりやコミュニケーションの場づくりに努めている。 ④ウォーキング講座も人気ゆえにコースづくりも気が抜けないと感じられる。文化財保護センター企画展をコースに入れるなど地域の特性を生かした工夫がみられる。	13点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P134～139 ①文化振興事業団連携事業/(1)齊藤順子ソプラノコンサート130人、(2)桂二葉落語会127人、(3)井草聖二ギターコンサート127人 ②SDGs Saturday Goodsマルシェ 66人 ※新規 ③子育て支援と多世代交流事業 (1)地域ボランティア講師による放課後の子どもの居場所づくり「寺子屋」80回 269人 (2)第5回北栄校区こどもの文化祭 427人 (3)プレマ講座「ママと赤ちゃんの快眠講座」8人 (4)夏休み子ども講座「ボードゲームであそぼう」2回70人 ④多世代の健康ニーズに応えて (1)認知症予防講座 50人、(2)バランスボール運動 3回42人※同好会へ発展 ⑤大人のまなび (1)「庭木の手入れ」3回 41人 (2)「足ウラでわかるあなたの身体」2回 18人 (3)「ねむりのトレーニング」2回 12人	期待以上 13点	①文化振興事業団連携事業は、身近な公民館で著名な出演者による質の高い音楽や芸能を提供できたため、地域はもとより県内外からの集客効果を得ることができた。 ②利用者ニーズで開催したフリーマーケット「SaturdayGoodsマルシェ」、その目的として「SDGs」を明確に意識して取り組まれた。今後も継続することで、目的意識の浸透に期待する。 ③「寺子屋」は当該施設の特徴ある事業の一つであり、放課後児童クラブや児童館とともに小学生の居場所として継続している。講師の後継などの課題もあるが、講師、学校、地域関係機関とも連携しながら、子どもを見守る場を提供している。 ④認知症予防講座も昨今様々なアプローチで多彩である。当該施設では、認知症ケア専門士・音楽療法士を招き、ギターの生演奏に合わせて歌い、手足を動かすユニークな手法で取り組み、参加者が飽きないような企画づくりに努めている。	13点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃 ②保守・点検 ③保安・警備 ④小規模修繕 ⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P140 ①施設内清掃(基準:毎日)を実施。 ②特別清掃は年2回。その他敷地周辺も職員の手で定期的に清掃や除草、花壇整備。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
					年次報告書P140 ①消防設備保守点検(年2回)、②空調機器設備保守点検(年4回点検清掃) ③全室の机、ホワイトボード他、備品を定期的に点検(月1回) ④自動ドア開閉異常点検(年2回)、⑤研修室側の桜の枝剪定 ⑥冬は凍結予防対策実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					年次報告書P140～141 ①機械警備業務を委託。 ②朝、昼、夕、夜間に外トイレほか見回り。 ③迷惑行為抑止のため大ホール入口に防犯カメラ増設。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					年次報告書P141 ①有料修繕 全9件 総額 710,795円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
					年次報告書P142 ①災害対策として図書室と大ホール北側の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼付け。 ②朝、夕、夜間に、定期的に施設全体及び敷地内の異常の有無を確認。 ③市の公共施設点検マニュアルに基づく点検。(雨樋の破損を発見し修繕)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P142 ①ファイリングシステムによる文書管理。全職員が素早く正確に取り扱えるよう努めている。 ②多治見市への提出文書を迅速かつ適正に作成、管理。 ③利用者ごとに申請書を管理。還付請求等に正確、迅速に対処している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P142～143 ①敷地内及び周辺と第2駐車場の草刈りを定期的に実施。 ②サーキュレーターや紫外線除菌器等使用、ファイリングのラベルやファイルの再利用で、省エネ、感染対策、資源のエコ化などSDGsを意識した運営を実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P142～143 ①車いすの利用者がよりスムーズにトイレが利用できるよう手すりを追加設置。 ②大ホールステージ両端の階段に手すりを設置。 ③尿漏れバット等を必要する方やその他の理由で男子トイレを利用される多様な利用者向けに男子トイレにサンタリーボックスを設置。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P142 ①多治見市の備品には備品シールを貼り適正に管理。物品番号が届いていない備品は一覧表を作成し、物品番号が届き次第、備品シールを貼れるよう準備済。 ②卓球台、スタックテーブルなどは、月1回、職員がキャスターやネジの安全点検実施。卓球台は年1回、専門業者による整備点検も実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P142 ①名簿等の個人情報の把握は最小限にとどめ、必要以上に作成保存をしないことを徹底。②個人情報を含む書類等は文書ファイリングで管理されたキャビネットに保管、廃棄はシュレッダーで裁断し処分場で焼却処理。 ③テレビ取材や広報掲載時の写真撮影等は、撮影及び掲載の了承を得ている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	事故なし。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入21,021,949÷支出20,769,379＝101%	105%未満～100% 4点	【参考】令和元年度101%、2年度94%、3年度100%	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P144 ①不用品を再利用してもらう場が欲しいというニーズに応えた「SaturdayGoodsマルシェ」はSDGs事業として開催。 ②桂二葉落語会や井草聖二コンサートは、著名な出演者による公演が身近な公民館で格安で楽しめたと好評。 ③「趣味の作品展を地域の人に見て欲しい」というニーズに対し、「健康ひろば」「ウォーキング」の同時開催により来場者を増やし好評を得た。同時に公民館新規利用にも寄与。 ④健康ニーズによる「バランスボール運動」は同好会へ発展。	期待以上 9点	①不用品を持ち寄りやり取りする場のリクエストに対し、SDGsへの意識の啓発をしっかりと示して事業化している。 ②著名人のステージが地域の公民館で楽しめる意外性、希少性は文化振興事業団の指定管理施設の連携の強みである。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点※苦情なしは5点とする	苦情なし	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P145～146 ①度重なる若者の夜間の迷惑行為抑止のため防犯カメラを大ホール入り口に増設。警察や地域関係機関とも情報を共有。 ②減災を目的とし、3年度から窓ガラスへの飛散防止フィルム貼付に取組む。4年度は図書室、大ホール北側窓ガラスに施工。他の部屋も順次施工予定。 ③大人数の利用が減少傾向にあったコロナ禍のニーズを把握し、少人数による軽運動等も利用できるよう中会議室のレイアウト変更。利用率、利用人数が大幅に増加。 ④アンケートによる要望から、コロナ以外にも花粉除去機能を備えた空気清浄機を研修室に設置。 ⑤認知症予防について地域包括支援センターや市高齢福祉課と連携し、予防ケア専門士・音楽療法士による認知症予防講座を開催。地域の拠点として見守りや認知症予防に取り組む事業を開催。	期待以上 13点	①当該施設における若者の夜間の迷惑行為(飲酒、ゴミの放置など)について悩み深いのが、防犯カメラによる抑止とともに、地域や警察との緊密な連携協力がとられている。 ②前年度に引き続き、窓ガラスの飛散防止フィルムの施工が計画的に行われている。防犯・減災の視点を明確に持ち、将来に向けた対策が取り組まれている。 ③コロナ禍のニーズを掴み、会議室の既定の利用方法に囚われず柔軟に対応し、利用者が使いやすい施設として工夫し、利用の増加に繋げた。 ④コロナ対策に注意が向きがらだが、利用者アンケートによれば換気によって花粉に悩む利用者も多いことに配慮し空気清浄機を設置するなど、要望に対して可能な限り速やかに対応。 ⑤講座の企画にあたり、社会的課題である認知症予防を取り上げ、関係機関と横の連携を取り積極的に取り組まれている。多様なジャンルにアンテナを張って、企画の幅を広げられたい。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				全体的な評価 ①高齢化や地域独自の課題に正面から取り組んでおり、地域住民や利用者にとって居心地の良い施設として親しまれている。 ②楽器の練習など若者の個人利用も多く、団地の中にある施設として利用しやすい環境づくりが行われているものと評価する。 ③防犯対策や減災対策への積極的な取組みが見られ、安心安全な施設管理に対する意識の高さがうかがえる。	合計86点	極めて良好